

科目	動物繁殖学		
担当講師	池上美紀 実務経験有 統一認定動物看護師 高校卒業後動物病院に勤務し動物医療に従事、専門学校講師担当講師		
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前期	講義	必修	30
授業目標 犬と猫、その他の動物の繁殖生理について学び、性行動、妊娠分娩、避妊去勢の知識を習得する。また、生殖器の構造、受精と着床のしくみ、妊娠の診断法や正常分娩と異常分娩の違いや、産褥期における母胎と新生子の管理などについて詳しく学ぶ。さらに遺伝についても基本を押さえる。			
授業概要 繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子の管理、遺伝学低概要を学ぶ。			
成績評価の方法 成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教 材 動物形態機能学（ファームプレス）			
授業計画 毎週火曜日 3限目 13：20～14：50			
回	授業内容		
1	動物繁殖学総論		
2	生殖器の形態と機能：性成熟と繁殖生理①		
3	生殖器の構造について理解する。雌性生殖器、雄性生殖器の基本構造について理解する。②		
4	性周期と交配：性成熟と発情徴候、性ホルモンについて理解する。①		
5	雌犬の発情について②		
6	雌猫の発情について③		
7	自然排卵、交尾排卵について理解する。④		
8	性周期と膣スメアの関係を理解する。⑤		
9	交配適期の決定法を理解する。⑥		
10	妊娠と分娩：着床・妊娠胎児の発育について理解する。①		
11	妊娠診断、妊娠期間、妊娠徴候について理解する。②		
12	分娩と助産、帝王切開、人工授精について理解する③		
13	新生子管理、遺伝学概論		
14	まとめ		